

神戸市立科学技術高等学校 空飛ぶ車いす研究会

私たち空飛ぶ車いす研究会は、国内で年間約5万台使われなくなる車いすを病院や、施設・個人等から提供していただきます。

その提供していただいた車いすは、私たちが工業高校の特徴を生かし、洗浄や修理・整備、梱包等、車いすを必要としている方にいつでも必要なときに渡せるよう迅速かつ丁寧に作業を行っています。提供していただいた車いすには、故障箇所、不足部品がでてくる場合があります。その際には工業高校の特徴を活かし、学校にある機械を使用することで故障箇所、不足部品の作製、補充をします。



また、日頃の活動の技術を活かす活動として、夏季休暇中に学校での活動はもちろん、近隣の特別養護老人ホームに訪問し出張点検を実施しています。この日頃の作業が人の役に立っているという自覚や、誇り、責任感を養うことができます。



夏季休暇中に3泊5日でタイ王国に出張修理に行きました。普段の学校だけの活動ではわからないことを発見することができ、実際に利用者の方に会いに行ってみてどんな方がどんな環境でどのような形でどうして車いすを必要としているのか知り、持って行った車いすで一人の人生を大きく変えられることを実感しました。



車椅子が安全、安心に届けられるよう、
そしてたくさんの笑顔につながる活動を応援しています！